

平成17年度第1回宇都宮市視聴覚ライブラリー運営委員会 議事録

- 1 日 時 平成17年8月5日(金) 午前10時から午後0時
- 2 場 所 宇都宮市立東図書館 2階 集会室
- 3 出席者
〔委員〕 石嶋勇委員, 石川栄子委員, 柴田富男委員, 敦見和徳委員, 四宮茂樹委員, 山口京子委員, 小林充佳委員, 石川賢委員
(欠席 長岡孝之委員, 小谷和弘委員)
〔事務局〕 西野視聴覚ライブラリー所長, 川上視聴覚ライブラリー副所長
ほか職員3名

4 公開・非公開の別 公開

5 傍聴者 なし

6 議 事

(1) 委員長・副委員長選出

- ・ 委員の互選により, 小林委員を委員長に選出
- ・ 委員の互選により, 石川(賢)委員を副委員長に選出

(2) 報告事項

- ア 平成16年度視聴覚ライブラリー利用状況及び事業実績について
- イ 平成17年度視聴覚ライブラリー運営目標について
- ウ 平成17年度視聴覚ライブラリー事業計画について
- エ 平成17年度視聴覚ライブラリー予算
- オ 平成16年度視聴覚ライブラリー決算

(3) 委員提案事項

(4) その他

7 発言の要旨

委員長: それでは, (2) 報告事項の「ア 平成16年度視聴覚ライブラリー利用状況及び事業実績」について, 事務局より報告をお願いします。

《事務局より, 資料に基づき一括して報告》

委員長: ただいまの報告について, ご質問等がありますか。

小林委員: 16ミリの映写回数が増え視聴人数も3万人を超えているということで, 映写ボランティアとしても喜んでいるが, 映写機メーカーが撤退してしまったことや, 今後デジタル機器が増えてくると, 16ミリフィルムなどが入手しにくくなるのではないかという危惧を持っている。予算的な問題もあるだろうが早

めに確保していただければと思う。これは要望ということで回答は不要だが、予算要求の際には是非一項目入れていただきたい。

委員長：他にないか。

(質問なし)

委員長：それでは次に進みたい。次の「イ 平成17年度視聴覚ライブラリー運営目標について」と「ウ 平成17年度視聴覚ライブラリー事業計画について」、「エ 平成17年度視聴覚ライブラリー予算」、そして「オ 平成16年度視聴覚ライブラリー決算について」は関連があるので、一括して事務局からご説明いただきたい。

《事務局より、資料に基づき一括して報告》

委員長：ご質問等あったらお願いしたい。

柴田委員：平成17年度の歳出予算は平成16年度の決算額に近いが、結果的にこうなったということで、備品購入費が削られたことによるということか。

事務局：新たに機材を購入するため、例年計上している購入費を削減したが、査定の結果、機材購入が認められず総額も下がったというもの。この例年計上している購入費については、新年度予算においてその額を回復したいと考えている。

委員長：他にないか。

石川(賢)委員：16ミリフィルムの利用が増えているのに何故予算が減ったのか、理由が分かった。関連したことなのだが、「資料1-4」をみると16ミリフィルム貸出件数が昨年に比べて100件ほど増えている。これはこういった背景があるのか、もう少しお話しいただきたい。今後も伸びるものかどうか、その辺の予想などもお聞かせいただければと思う。

事務局：16ミリフィルムの利用が伸びているというのは、宇都宮市の特徴的な動きだ。今後について、伸び率はそれ程急激にはならないと思うが、伸び続けていくものと思われる。その理由として、最近、児童福祉関係で利用が伸びているが、これは今後も続くと思う。また老人施設、特別養護老人ホームなどの利用が伸びている。これは映写ボランティアの会でも、今年度の目標として老人施設の映画会を計画していると聴いている。

小林委員：今年は、例年の2倍3倍程催すつもりでいる。

事務局：老人施設での映画会の人気は、このところ出ているようだ。先日も、「視聴覚ライブラリー」がサポートした老人介護施設で、ビルマの豎琴(40分程度のアニメーション)を上映したところ、非常に喜ばれ、映画が終ると拍手をいただいた。その時にこのようなことがあった。その施設に入所されている方の例なのだが、施設の職員の方によると普段はほとんど話されない方とのこと。ところがその映画を見た後、よくお話になったそうで、こういうことは珍しいと

職員の方も言っておられた。その方は、たまたま若い時にビルマに軍隊で行かれていたことが、その映画を観たことによって蘇ってきて、ビルマに行っていたことなど、非常に感慨深げに職員に話されていたとのこと。高齢な方たちへの映画の効用というのが見直される、このような例もあるので、利用の伸びは鈍化するかもしれないが伸び続けるものと思っている。

石川(賢)委員：「資料1-5」をみると16ミリフィルム視聴者は3万人を超え昨年とほぼ同様だが、貸出件数が増えているということは、それだけきめ細かくやっているということか。

小林委員：1回あたり多数の方に一度に見てもらうのではなく、少人数、小さな施設でも何回も見てもらい、貸出件数が増えたから視聴者も増えたとはいかないのだろう。映写ボランティアではこまめに出向いているので、初めて見たとかもう一度お願いしたいなどの要請は増えている。

石川(賢)委員：やったださる方に対して、ほんとうにお疲れ様といわないといけない。もうひとつお尋ねしたいが、先ほど機材を新しくしたら利用件数が増えたという説明があった。やはり、パソコンもそうだがある程度時代に合った機種に更新しないと、なかなか利用者も増えないということがあるので、今後とも予算要求をされるよう要望したい。

委員長：他にご質問、ご意見はないか。

敦見委員：パソコンはリースなのか、買取りなのか。

事務局：平成14年度まではリースだった。更新の際に予算要求をしたが認められず、中央生涯学習センターがIT講習に使用していたパソコンが移管され、現在使用している。こういう事情があるが、形態としては買取りになるかと思う。このパソコンは老朽化しているので、早急に更新したいと考えている。

敦見委員：高校では5年間のリースだ。リースでは機種が必ず更新される。以前は買取りで更新されない状況が続いていたが、県立高校はすべてリースになった。5年だと不満は残るが、それでも5年になれば更新はされる。買取りでは金額も大きいのかなと思ったので、その辺のところをお聴きしたくお尋ねした。

委員長：他になれば、次の「(3) 委員提案事項」に移りたい。この委員提案については、「視聴覚ライブラリー」の運営に関して委員の皆様からご意見、ご提案などをいただいている。どのようなことでも結構なので、ご発言をお願いしたい。

敦見委員：高等学校教育研究会には視聴覚部会もあるが、情報部会も何年か前から立ち上がっている。情報部会では教員向けの研修会、宇都宮市の先生だけではないが、研修会を年3回ほど行っている。視聴覚部会の方でも研修会はあると思うが、情報部会の方ではどちらかというとパソコンや編集機に関して行っていて、そういう研修会の一環として、こちらに来て何か研修をやらせてもらうという

ことは可能か。

事務局：差し支えありません。

敦見委員：例えばビデオのノンリニア編集機があるが、紹介することによって利用数が増えるのかなと思う。小中学校はそういう情報が流れていると思うが、高校については「視聴覚ライブラリー」のことがあまり伝わっていないようなので、知ってもらうということが大切なのではないか。市外の高校でも借りることは出来るのか。

事務局：市内の高校になります。市外の場合は相互貸借という方法もあるが、編集機など備え付けの設備の貸出しはできない。

敦見委員：市内には高校は多いので、もう少し利用されてもいいと思う。

柴田委員：市内の校長先生には会議の場などを捉えて、「視聴覚ライブラリー」ではこういうことが出来る、こういう活用方法があるといった情報は提供したい。

委員長：どちらかに連絡すれば、そこから関連したところに情報が伝わるわけにはいかないのか。

柴田委員：情報教育とパソコン関係であれば、栃木県高等学校教育研究会の情報部会に連絡すれば県内全域に伝わる。宇都宮市内に限って情報提供するというのであれば、近々会議があるので、市内の高校の校長先生に「視聴覚ライブラリー」の施設のことや今日の会議での話しは出しておきたい。

委員長：よろしく願いたい。他にないか。

石川(栄子)委員：小学校では16ミリフィルムやビデオの利用が減少しているのではないかと考えている。この件については学校週5日制による授業数の削減・確保、それから総合的な学習ということで、学校現場は非常に厳しい状況にある。なかなかビデオ教材を探している余裕がない。「視聴覚ライブラリー」には、多数の教材があるが、そこまで眼が行かないというのが現状だなと感じている。やはり私もこういう機会を得たので、PRをするのもひとつの役割なのかなと思う。色々なビデオ教材があって、やはり利用すべきだと思うので、何かの折、校長会にでも出席した時には少しPRをさせていただこうと思う。

石川(賢)委員：ビデオ教材などについては、ホームページでどのようなものがあるか閲覧できるかと思うが、事務局から紹介いただけないか。

事務局：16ミリフィルムに関しては、パソコンで閲覧できるようにPDFファイルの形式で作成している。ビデオ教材については現在作成中です。單元ごとに、例えば環境を調べたいという時には、環境のビデオを全部一覧にして載せるということで作成しているので、しばらくお待ちいただきたい。なお、平成9年以降の自主制作のビデオ教材については、全編ではないが30秒程度のビデオクリップを載せているので、教材の雰囲気は見てもらえるものと思う。

石川(賢)委員：その辺のことも、もう少しPRをするといいいのではないか。

委員長：PRをお願いしたい。

山口委員：今日委員の皆さんは、ビデオ教材などの利用を推進する役で出席しているのだと思うが、逆に保育園では映像禁止ということもある。子どもたちは朝起きてアニメのテレビやビデオを自宅を見て、夕方家に帰ってもビデオというような映像漬けの生活が多くなっていると一般的に言われている。私どもの園では教育の部分でも一切映像は禁止、教育テレビも含めて一切保育園のなかでの映像は禁止している。例えば、観察的なものとか行事を保護者に紹介する場合には使うことがあるが、物語のビデオは子どもたちに見せていない。眼の発達上も、発達しきれていないのに映像だけを一方的に黙って見ているというのはどうか、医学的にも言われているということも一部聴いている。保育園によっては使っているところもあるが、映像を禁止しているということがあるのを知っておいていただきたい。

話は変わるが、パソコンの研修会などは利用したいと思うし、このような施設があることは紹介したい。また、色々な機器を無料で借りられるので園長会の方には是非紹介したいと思う。

委員長：こちらには色々な機器があるのでご利用いただきたい。

石嶋委員：幼稚園の方では実情が違い、保育園のお子さんたちのお父さんお母さんはほぼ100%が就労している家庭だと思うが、幼稚園の場合は6、7割が専業主婦ということなので、家に帰ったら出来るだけテレビなどを見ないで、親子のふれあいを大切にしてほしいという指導を家庭の方をお願いをしている。どうしても共働きをしていると子守りをテレビをお願いしてしまうというのが、共働きの家庭の現状かなと思いながらお話しを聴いていた。幼稚園の場合は事情が少し違うので、ビデオなどを園でも採り入れて、特に環境ビデオなどは有効に活用させていただいている。

委員長：それぞれによって違いはあるかと思うが、使える時には是非ご利用いただきたい。他にはないか、なければ次に進みたい。事務局から「郷土映像情報の収集について」を説明いただきたい。

事務局：お手元にある「郷土映像情報の収集について」という広報誌9月号の原稿をご覧いただきたい。これは、宇都宮市に残る8ミリフィルム、8ミリフィルムは昭和40年代に活発に使われたものだが、こういった古い映像を集める事業を9月から開始する。広報誌により一般市民の方に情報の提供を呼びかける。8ミリフィルムはおそらくご家庭のダンスなどのなかに眠っているかと思うが、そういうもののなかから宇都宮市内の古い風景とか、あるいはお祭りの様子とか、写真ではなく動く映像としての郷土資料を収集する。このような映像は失

われつつあるが、今ならなんとか間に合うのではないかと考えている。また、こういった古い映像が集まったら、先ほども話があったがホームページのなかで紹介したいと考えている。委員の皆様もお持ちでしたら、是非ご提供いただきたい。

委員長：提供いただいた8ミリフィルムは、具体的にはどうするのか。

事務局：「視聴覚ライブラリー」でデジタル情報に変換をして複製を保存する。またビデオも作成し、原本の8ミリフィルムは提供者に返還する。

委員長：他に事務局から何かあるか。

事務局：次回会議の開催日程について、来年2月に第2回目を予定したいと考えている。具体的な日程については委員長と協議して、改めて皆様にご通知を差し上げたい。

委員長：皆様よろしいか。他になければ、これをもって本日の運営委員会の審議を終了し閉会とする。委員の皆様のご協力を感謝します。